

生徒のみなさんの声

「今までより教室移動が楽になって、本当に助かっています」 廣岡 黎さん

「雨の日の部活では、後輩がここで筋トレしています。僕らの時はもっと狭いところで筋トレしていたので、ちょっとうらやましいです」 桑木亮汰さん

「これから中学校に来る後輩にも、きっと役立つと思います。大事に長く使ってくれるようにと願っています」 佐之瀬翔さん



ゆったりとした開口のエレベーター



車いす対応の多目的トイレ



柔剣道場 渡り廊下

他にもこんな学校施設を整備しました

◎三草小学校・上下水道管の改修

漏水等の問題があった上下水道管を改修しました。

◎社中学校・校門移設工事

交差点の近くにあった校門を移転。また、植え込みの撤去等で門前のスペースを大きく確保して、死角を排除しました。



施工前

施工中



完成



施工前



施工前



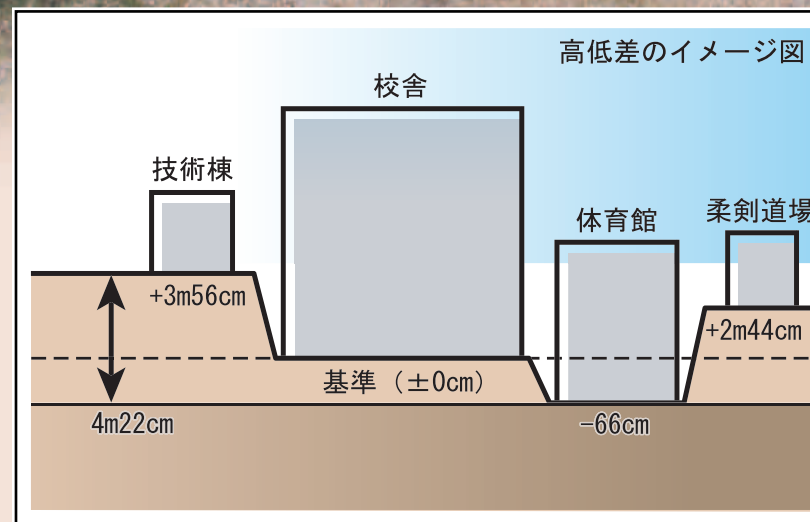
施工後



施工後

柔剣道場 渡り廊下 (施工前・施工後)

技術棟 渡り廊下 (施工前・施工後)



技術棟 渡り廊下

社中学校では、周辺の道路整備に合わせて、校門の移設を行いました。新しい校門を整備する際、校門前のスペースを大きく確保することで、道路からの死角を排除。より安全で安心な登下校を提供できました。

来年度以降も、滝野東小学校でのトイレ洋式化工事や、各学校校舎・体育館等の天井材・照明等非構造部材の落下防止・耐震化などをはじめ、さまざまな事業を展開します。

加東市の未来を担う子どもたち。その健やかな成長に寄与する、よりよい学校施設整備に、これからもご期待ください。

また、移動の起点となる校舎には、エレベーターと車いす対応のトイレを整備しました。これらの取り組みにより、東条中学校は誰もが安全・安心・快適に利用できる学び舎となりました。

高低差解消のため、体育館へは校舎1階から、また、特に高低差の大きい柔剣道場、技術棟へは校舎2階から渡り廊下を設置。それぞれの渡り廊下の延長は、体育館32m、柔剣道場82m、技術棟31mで、総延長は145m。この延長は北播磨地域の学校施設内渡り廊下で一番の長さとなっています。

傾斜地を整地して建てられた東条中学校は、体育館、校舎、柔剣道場、技術棟のそれぞれの地盤に高低差があります。校舎を基準とすると、体育館は66cm低く、また、柔剣道場と技術棟はそれぞれ2m44cm、3m56cm高くなっており、体育館から技術棟までの総高低差は4mを超えています。

平成25年度のまちづくり戦略の柱としている「学びと育み」の推進。

『誰もが安全・安心・快適に利用できる学校施設の実現』に取り組む中で、東条中学校ではバリアフリー化工事を実施しました。

進んでいます！『学び』を支える学校施設づくり
誰もが安全・安心・快適な学校を目指して